

# 教育学部

- 教育学科
- 乳幼児発達学科

## 人材養成等教育研究に係る目的

教育学部は、変化の激しい知識基盤社会において総合的な判断力、並びに平和で豊かな社会の実現に積極的に寄与できる社会力、専攻する分野における幅広く深い専門力を持った、人間性豊かな教員や社会人を育成することを目的とし、そのために必要とされる、人間や社会への理解や愛情、基礎的な学力や規範意識（モラル）、教育や職務への使命感・責任感、自ら研鑽に努める意欲、実社会におけるリーダーシップ、等の諸能力の獲得を図る。

教育学科は、子どもを深く理解し、主として学校教育に関する専門的知識や技能並びに教職における実践的な指導力を併せ持った教員の育成を目指す。

乳幼児発達学科は、乳幼児が通う保育所、幼稚園、認定こども園等の施設において活躍できる専門基礎教育を重視し、社会的なニーズが高い、子育て支援に関わる人材の育成を目指す。

## ディプロマ・ポリシー

上記の人材育成の目標に向けて次の学修成果を果たした者に学位を授与する。

- (1) 教育・保育に携わる者として基礎的な言語操作力、数理分析力を確実に身に付け、教育・保育に関する確かな専門的知識を修得している。(知識・理解)
- (2) 教育・保育に関する専門分野での知識に基づき、自ら課題を論じ、研究を重ねることで教育・保育における現代的課題について自らの知識に基づく考察を述べ、解決のための方途を立案し実践に向けて主体的、創造的、協同的に取り組むことができる。(思考・判断)
- (3) 教育・保育活動に取り組むための実践的な技能・表現を身につけ、教育学的知見に基づいて教育や保育の場で活かす力を身に付けている。(技能・表現)
- (4) 教職や保育等、ヒューマン・サービスの社会的意義と特性を理解し、使命感をもって子どもの成長と福祉とに貢献できる。本学で培った「人間力」「専門力」を通じて、我々を取り巻く様々な社会的諸問題に主体的に関心を持ち、児童・生徒・社会に対する様々な対人コミュニケーション能力に基づく「社会力」を身に付けている。(関心・意欲・態度)